

人と自然が輝く水源の郷



第8回道志村トレイルレース
20160515

全国屈指の難コース 1041人が健脚を競う

- 議長あいさつ、議会構成 P 2
- 議案等の質疑（観光客と住民との交流は、新しいイベントとは） P 4
- 一般質問（7人が問う） P 6 ~ 12
- あの一般質問は・今（地域おこし協力隊への支援は） P 14
- 紹介／がんばる人紹介（村民ゴルフクラブ／坂本雅央） P 15 ~ 16

地方創生へのチャレンジ

村議会議長 出羽 和平



議長就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。

5月議会臨時会において議会議長に推挙されました。まことに光栄であり責任の重大さを痛感しています。

さて、昨年度村では総合計画を策定し、10年後の村のあるべき姿が示されました。また「道志村まち・ひと・しごと総合戦略」も同時に策定され、様々な事業が掲げられています。

その中で、本村における重要課題の一つに人口減少問題があります。「一度任んでみませんか」をキャッチフレーズに、定住人口の増加に挑戦するものであります。

また、大きな事業として小学校の建設が進んでいます。今年度中には完成し教育環境が整い、小中一貫教育を含め、地域に合った特色ある教育が期待されます。学校建設には多額の費用がかかっており、一方で財政健全化も求められています。

今度の議会は2期目、3期目の経験者が半数います。議会の活性化、見える化など改革を行い、創意工夫と努力を積み重ね、村政発展と村民福祉の向上に全力で取り組んで参ります。

長田村長をはじめ村当局並びに、村民各位にもご支援ご協力をお願いし挨拶いたします。

新しい議会構成

● 正副議長

議長	出羽 和平
副議長	大田 博文



● 委員会

委員会名	委員長	副委員長	委員		
総務文教常任委員会	佐藤 進	杉本 孝正	佐藤 長久	出羽 和平	大田 博文
建設厚生常任委員会	佐藤 和彦	池谷 高明	菅谷 政文	山口 博康	佐藤 一仁
広報常任委員会	菅谷 政文	佐藤 長久	杉本 孝正	佐藤 進	
議会運営委員会	山口 博康	佐藤 進	佐藤 和彦	菅谷 政文	

6月 定例会

横浜にアンテナショップを設立 野原～月夜野トンネル残土処理場確保へ

6月定例会は6月7日から10日まで開催され、●1件の条例改正●28年度一般会計補正予算●28年度2件の特別会計補正予算を審議可決しました。
7人の議員が一般質問し村政の考えを聞きました。

おもな審議事項

●一般会計補正1億1446万円を追加、総額20億8602万円で議決

おもな財源	・国庫支出金	……………	3900万円
	・県支出金	……………	△20万円
	・寄付金	……………	30万円
	・繰入金	……………	3030万円
	・繰越金	……………	4506万円

おもな使いみち	・総務管理費（横浜アンテナショップ委託料など）	…	4533万円
	・民生費（国保特別会計繰出金など）	……………	165万円
	・農林水産業費（地籍調査委託料など）	……………	78万円
	・土木費（残土処理場、立木の補償など）	……………	5108万円
	・商工費（盆踊りイベント費など）	……………	460万円

●条例改正を議決

- ・条例改正 1件 重度心身障害児医療費助成対象者を窓口無料化した。

5月16日 平成28年第3回臨時会

おもな審議内容

●一般会計補正455万円を追加、総額19億7155万円で議決

おもな財源	・分担金及び負担金	……………	250万円
	・繰越金	……………	205万円

おもな使いみち	・総務費（LED外灯調査費ほか）	……………	205万円
	・商工費（水源林取得百年記念）	……………	250万円



議案等の質疑

本定例会で行った、協議会での質疑の一部を紹介します。



Q 観光客と住民との交流、新しいイベントとは

●イベント内容は、PR方法は

A 住民相互や帰郷者及び観光客との交流を目的に実施する新たなイベント…8月開催に向けて実行委員会を立ち上げを検討する。



昨年度実施の盆踊り大会



残土処理場 (予定地)

Q トンネル残土処理場の確保は

●用地等の買収予算が計上されているが

A 詳細設計を作成中、6月中旬に図面など引き渡されるので、その後用地交渉。残土処理場は4ヶ所を予定している。

Q 重度心身障害者医療費助成条例の一部改正

●どのように改正されたのか

A 障害児は、一旦窓口で精算していたものを、窓口無料化方式になったので支払いの必要がなくなった。対象障害児とは、18歳に達する日以後の最初の3月31日までの方。

(案)

運山村	
重度心身障害者医療費助成条例受給者証	
申請者氏名	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
生年月日	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
申請者住所	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
申請者職業	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
性別	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
氏名	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
生年月日	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
申請期間	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
山梨県 運山村長 印	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
交付年月日	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

※ 交付の申請書提出後には、申請書と一緒に返却してください。

交付する受給者証

6月定例会一般質問一覧

■ 佐藤 和彦 議員

1. 大規模災害発生時の対策は

■ 池谷 高明 議員

1. 20年ぶりの村議会選挙の感想は
2. 老朽化した観光施設の見直しが必要では

■ 佐藤 一仁 議員

1. 村長公約の進行状況は
2. 地域密着型老人福祉施設の進捗状況は
3. 重点施策の取り組みは

■ 佐藤 長久 議員

1. 市町村合併問題に対する村長の認識は
2. 村政における2元代表制に対する村長の認識は

■ 佐藤 進 議員

1. なぜ道志村だけ回答しないのか
2. 地域協議会と村が体験学習の誘致活動が出来ないか

■ 菅谷 政文 議員

1. 村独自の強靱化計画の設定は
2. 道の駅どうしのPRについての提案

■ 山口 博康 議員

1. 野原・大渡・月夜野トンネルの進捗は
2. 子育て支援対策に対する取り組みは

一般質問 村政を問う ここが聞きたい

※一般質問とは、議員が自分の考えや住民からの要望などを、村長や教育長などの行政に問うことです。

7人の議員が質問

・本文掲載は要旨のみです。
・再質問は議事録で閲覧できます。

・議事録は議会事務局で、8月上旬ごろ閲覧できます。

議会を傍聴しませんか

・次回定例会は9月に開催します。

・傍聴の定員

・本会議10人（席の都合上）

・6月定例会の傍聴実績

・本会議6人

・問合せ 議会事務局

☎ 0554-52-2112

Q 大規模災害発生時の 対策は A 道志村地域防災計画にて対応



かずひこ
佐藤和彦 議員

佐藤

村の防災対策について、大規模な災害発生時の、職員を含む初動体制の確立は。

村長

本村は、多種の自然災害が発生しやすい自然条件下にあります。

東北や熊本地震、また浅間山噴火の災害を教訓に各種防災対策、及び災害復旧対策を講じなければと考えています。

総務課長

災害時の初動体制は、平成24年度に策定した「道志村地域防災計画」、「道志村災害応急対策マニュアル」の通り、村長を本部長、教育長を副本部長として、各課

の職員を総務部・住民健康部・産業振興部・教育部に配属し、

消防、警察関係者を交えて災害対策本部を設置し、情報収集、対策の協議等、役割分担に則った対策を講じています。

また、二次災害の恐れがある場合も、避難準備情報・避難勧告・避難指示を住民に伝達することとなっています。

Q 避難所と表示板も見直しが必要では

A 防災計画の見直しを検討

村長

防災計画では指定避難所が12箇所、予備避難所が9箇所、一時避難所は31箇所

あります。

26、27年度の防災訓練で実施した図上訓練の結果やハザードマップを考慮し、見直しの検討を考えています。

Q 調査を希望する住民に助成して簡易的な耐震調査の考えは

A 診断は無料、工事費は助成

産業振興課長

村では昭和56年5月以前に建築された住宅を対象に、無料で耐震診断を行っています。昨年度までに65件の調査を実施し各戸に報告しています。耐震工事も助成しています。

Q 池之原橋と谷相橋の耐震化の計画は

A 国道の改良工事との関係で検討中

産業振興課長

村道谷相く池之原線及び室久保線は重要な路線として拡幅改良を実施しています。

村道の全橋梁で点検を実施し、長寿命化修繕計画を作成しており、池之原橋・谷相橋とも修繕すべき箇所及び耐震工事

の必要性についても把握しています。

また、池の原橋付近の国道改良を要望しているために村道の取付け位置が変わり、橋の設置箇所の変更が予想されるため、修繕及び耐震工事の実施を先送りし他の橋の修繕を優先している状況です。

今後とも県建設事務所と国道の改良時期など協議を進める中で検討しています。

「再質問あり」



地域防災計画とハザードマップ

Q 20年ぶりの村議会 議員選挙の感想は A 村民の議会に対する期待の大きさ



池谷

20年ぶりに行われた議会議員選挙は村民の関心もあり高い投票率でした。今回の選挙をどのように感じられたか。

村長

4月24日に行われた、村議会議員選挙は93.58%と高い投票率であり、村民の議会に対する期待の大きさがうかがえ、また候補者が村の現状をよく見て道志村の未来を考えた政策を訴えた結果だと思えます。

Q 総合戦略事業の 最優先事業は

A プレミアム付き
商品券の発行

産業振興課長

総合戦略事業の中で観光振興関係事業において最優先に行うことは「プレミアム付き商品券の発行」・「アンテナショップの開設、運営」事業です。

「プレミアム付き商品券の発行」事業は7月に販売を行い、今回は村外の方も購入可能とし、利用可能店舗も民宿・キャンプ場などに登録していただき、交流人口の増加や消費喚起等を目的としています。

Q 老朽化した観光 施設の見直しは 必要では

A 公共施設管理計画を作成

産業振興課長

老朽化した観光施設の取り扱いです。数年前より水源の森野外音楽堂が使用できない状態にあり、また本年度からはグリーンロッジが閉鎖されました。ともに老齢化が著しく修繕には多大な予算が必要になることや、修繕費用に見合った効果を得ることは難しいとの判断から取り壊す方向で考えています。

本年度中に公共施設管理計画を作成し、解体費用にも起債を充当することができるようになり予算を確保しやすくなるため、計画的な管理をしながら村の負担を軽減していく予定です。

Q 観光施策でオリ ジナル事業は

A 横浜にアンテナ
ショップを開設

産業振興課長

オリジナルの事業ですが、道志村の特色として横浜市の水源地であり、特に本

年度は水源林取得から100年というところもあり、横浜市民向けに観光キャラバンを多く予定しております。アンテナショップの開設は、町村では珍しい取り組みであると思えます。

「再質問あり」



Q 村長公約の進行状況は

A 新総合計画に基づき実行していく



佐藤

県道、道志く都留線の防災トンネルについて推進体制とそ
の要望は。

村長

平成26年11月に主要地方道都留道志線道坂トンネル建設期成同盟会を設立し、平成27年7月に山梨県道路整備促進協会に加盟しました。

昨年度は建設期成同盟会長、副会長で富士東部建設事務所長、及び県土整備部長にトンネル建設についての要望活動を行いました。

山梨県としては、現在進めている野原く月夜野間トンネルを最優先に完成させ、その後に富士山噴火時の防災上でも重要

である道坂トンネルの建設を検討するので、継続して要望活動を行うことが重要であるとの助言をいただいています。

Q ①地域密着型老人福祉施設の進捗状況は

②ベツト数が20

人規模となつ

た経緯は

③雇用人数は

④関連事業は

A 事業者と最終的な協議、打ち合わせ中

村長

①平成27年10月21日に事業者を決定して以来、現在、最終的な協議、打合せを行っているところですが、補助金交付者である

国、県の指導を受けながら、早期に着工し、平成29年4月以降の早い時期に運用開始したいと考えています。

②この施設は、定員29人まで認められて

いるものですが、道志村の介護認定者を

はじめ、施設利用者及び待機者等から検

討、協議した結果、実

情を考慮した20人定

員として整備することにしました。

③雇用の創出については、地域密着型老人福祉施設の職員配置

計画で20人程度と提示されおり、複合施設では、これ以上の

雇用創出を見込んで

います。

④福祉施設の関連事業については福祉施策の複合施設として、

例えば「サービス付き高齢者向け住宅」などの福祉施設の誘致を考えています。

Q 村長の掲げる「住んでみたい村、住んでよかった村」の重点的施策とその進捗状況は

①

②

③

④

村長

「住んでみたいお村」実現に向け「高齢者が安心できる村づくり」「子育てにやさしい村づくり」「安全で住みよい村づくり」を進めてきました。「高齢者が安心して暮らせる村づくり」では、

「地域密着型老人福祉施設」の誘致を積極的に進めてきました。

「子育てにやさしい村づくり」では、任意

予防接種の助成、す

こやか子育て医療費

助成事業の年齢の拡

充、母子交流の場の

提供等により、子育て支援を積極的に行

ってきました。

今後は昨年度策定

した、平成28年度か

ら10年間の道志村総合計画の将来像である「人と自然が輝く

水源の郷 住んでみたい村 住んでよかった村」に向け基本計画に掲げた施策を実施していきます。

「再質問あり」

Q 市町村合併問題に 対する村長の認識は

A 合併議論は過去のもの 現在は地域振興に邁進



佐藤 ながひさ 議員

佐藤

- ① 平成の大合併に対する認識は
- ② 現時点ではどのよう
に考えているか
- ③ 市町村合併によつて、
住人の一体感が高まり自治体の運営が順調に進行している自治体を知っているか。

村長

① 市町村合併問題に対する私の認識は、国の政策として、平成11年から全国で、市町村合併の動きが活発となり、道志村も平成16年都留市との任意合併協議会を設け、その方向性を検討しましたが、同年に行われた住民アンケート調査の結果を受け、単独存続の道を選択した訳です。

当時は、国からの

特例債もあり、合併について検討をする必要があると思っていました。

② 現在は、国も地方に光を当てた政策を進めています。合併議論については、過去のものと認識していますし、現在は、地域振興に邁進するのみです。

③ 自治体の合併後の成功例については、検証をしていません。

Q 村政における二 元代表制に対する 村長の認識は

① 首長及び村議会の役割は

② 職員の役割は

A 首長、議員が切

磋琢磨すること
が必要

村長

① 住民が直接選挙で、首長と議会の議員を別々に選ぶ制度だと認識しています。首長が自治体の執行権者として、予算や条例などの議案提出や予算の執行権を有し、直接行政運営を行うのに対し、議会は議案の議決などで、首長の行政運営を監視する立場にあると考えます。

二元代表制において議会と首長は、より良い地域をつくるために、両者がそれぞれの特性を活かし、住民の声を聞きながら切磋琢磨することが地域の代表者として、あるべき姿だと考えます。

② 職員については、全体の奉仕者として、

首長の行政運営を補佐する立場にあると思います。

「再質問あり」



Q なぜ道志村だけ回答 しないのか

A 再回答したが、手違いにより



佐藤

4月30日の山梨日日新聞に2020年東京五輪・パラリンピックに関する共同通信社のアンケート結果が掲載されました。

この記事の最後に「アンケートには道志村を除く県内26市町村が回答した」と書かれています。

この記事を見た村民から「なぜ道志村だけ回答しないのか」との声も聞きました。こうした全国規模で実施しているアンケートに回答しなかった理由は、

総務課長

このアンケートについては、共同通信社が4月8日までの期日で実施し、山梨

日々新聞で4月30日に掲載されたもので

4月8日の時点では、対応について、検討が行き届かず、4月28日に山梨日日新聞社から掲載に向けて、再回答を求められ、FAXにより回答した

が何かの手違いにより、掲載にはいたらなかったものと考えられます。

内容については、自治体に担当部署を置いてあるか、海外競技チームや日本代表チームの事前合宿を誘致するか・東京五輪への関与について等の内容でした。

産業振興課長

東京に近い本村の立地を考えますと、何かの形で参加、協力を検討しなければならぬと思いますし、村の情報発信の

良い機会だとも考え、今後対応を協議したいと思えます。

Q 観光協会、地域協議会は、おもしろい

横浜市の小中学校の体験学習の受け入れを行い、年間約15校位の受け入れを行っていることを認識しています。

横浜市と本村は「横浜市民ふるさと村」の協定を結んでいます。こうした事をもとに、村は受け入れ誘致が出来ないか

A 地域協議会と協力

体験学習は、平成26年度に17校、平成27年度は20校を受け入れています。

地域協議会に補助金を交付し事業を実施していますが、村でも例年、年度当初に横浜市役所を訪ね、観光についての協力要請をするなかで要望を行っております。横浜市内の全小中学校にチラシの配布、また市内の校長会でのPRなどをお願い

しています。小中学生のうちから道志村に関心を持っていただくことは将来的に大きなプラスとなることが見込まれるので、今後も引き続き村と地域協議会で協力して行きたいと考えています。

「再質問あり」



誘致連絡会で横断幕設置(忍野小)

Q 村独自の強靱化計画 の設定は

A 道志村強靱化計画の実施に向けスタートへ



まさふみ
菅谷政文 議員

菅谷

都留、道志線の防災トンネル建設には、国の強靱化計画、県の防災計画に則した「道志村独自の強靱化計画」を作成し、防災トンネルもその中に位置づける考えは。

村長

本年度中に地域の防災対策としてまた、地域振興のために「道志村強靱化計画」を作成し、美しく、強く、しなやかな地域の建設に役立てたいと考えています。

また、この計画は、道志村における自然条件、地理的条件等を加味し、東海沖地震、富士山噴火など自然災害への対策へ

の意味合いがあることから、災害時における避難路の位置づけも行うこととし、村内外に向けて、防災トンネル建設の必要性を訴えて参りたいと考えます。

Q 去年は「いってよかった道の駅ランキング」で全国11位にランキングされました、訪れた利用者や村民にアピールできる横断幕の設置やホームページへの掲載は

A 効果的な宣伝方法を考える

産業振興課長

昨年度インターネットの口コミサイト

て全国11位に選ばれ、非常にうれしく思っています。

口コミの内容の多くが道志川の清流、春の青葉や秋の紅葉など自然環境の美しさや、販売されている新鮮な野菜やクレソンを使った料理が人気であると感じます。

道の駅周辺は景観重点地区に指定されており、横断幕などの設置は景観を損ねる逆効果になる恐れもあるため設置は考えていませんが、ホームページへの掲載は容易であり、効果も期待できるので道の駅に要請したいと思います。今年も上位にランキングされるようであればより効果的な宣伝方法も検

討したいと思えます。

「再質問あり」



道坂トンネルは災害時における避難路の位置づけを行う

Q 野原・大渡・月夜野間 トンネルの進捗は

A 現在は土地の買収交渉に移っている



山口

野原・大渡・月夜野間トンネルの用地交渉で、今年度土地の買収交渉が始まると聞いているが、具体的な日程や、どこから始めるか。また、残土処理について具体的な情報はあるか。

産業振興課長

各地域の同意を得て、現在は土地の買収交渉に移っています。野原側入り口についてはスムーズに進んでおり、月夜野側も順次交渉を進めています。大渡地区においては法面の詳細設計の見直しをしており、買収に関する説明会実施後、8月から交渉に入る予定です。同時進行で税務署との課税に関

する打合せも実施しています。

Q 残土処理場は

A 詳細設計を作成中

産業振興課長

残土処理場については現在建設事務所
で詳細設計を作成しており6月中にも詳細図面など一式引渡しを受ける予定です。平成28年度中にはすべての土地買収を終了し、平成29年2月～3月には大渡地区から工事着工できるように進めています。

Q 村内には、幼児が遊べるような、公園がなく近隣市町村の公園や、キッズランド等の有

料施設を利用して
います。若いお母
さん達の集いでは、
常に遊具のある、
公園整備が話題に
なるようです。多
くの村民より要望
があり、設置の必
要性を痛感してい
ます。一歩前進す
るよう強く要望し
ます

A 財源確保に努める

村長

平成27年度から31
年度までの「道志村
子ども子育て支援事
業計画」と共に平成
28年度からスタート
した「総合計画並び
に総合戦略」におい
て、それぞれの施策
の中に位置付け取り
組んでいます。

子供たちの遊び場



公園整備や遊具の設
置については、現在
やまゆりセンターの
駐車場内にある芝生
公園や道の駅周辺の
農村公園が整備され
ています。また、平成
27年度には善之木小
学校跡地を利活用し
た芝生公園を整備し
ましたが、整備補助
金の要件から遊具等
については、未整備
です。

今後は公園施設内
に安全な遊具を設置
することや、学校跡
地の利活用などによ
り、必要な公園整備
と遊具の設置につい
ては、子育て環境の
面からも優先順位が
高いと考えています
ので、財源確保に努
め取り組んでいきたく
いと考えています。

「再質問あり」

議会活動報告



●道志村議会議員研修会

平成28年5月20日

私達議員にとりましては、この研修会を通し議会の使命、議員の職責、議会の権限等を知ることができ改めて議会議員として、身が引き締まる研修会になりました。この研修会を元に、これからは住民の代表者として、住民に恥じないように議員活動をしていきたいと思えます。



町村議長会花輪局長による研修

●町村議会議員研修会参加

平成28年5月26日

自治会館にて、自治功労者表彰式、町村議会議員研修会に参加してきました。特別功労者(2名)、第30回広報全国コンクールにおいて昭和町議会だよりが総合4位になりました。

町村議会表彰に、忍野村議会が表彰されました。

表彰の後は、「住民自治を推進する議会18歳選挙権年齢に引き下げを踏まえて」をテーマに山梨学院大学法学部教授の江藤俊昭氏の講演を全員熱心に受講してきました。



自治会館にて研修

●町村議会議長・副議長研修(中野サンプラザホール)

5月30~31日

全国町村議長会主催の研修会に参加しました。

特別表彰された神奈川県大磯議会、長野県飯綱町議会の議会活性化の取り組みについて発表がありました。議会改革は、議員の意識改革でもあり持続的・継続的に実践を積み上げ活動を定着させることが重要。定数、報酬削減は議会改革ではないとの話が印象的でした。

2日目は、読売新聞特別編集員の橋本五郎氏の時局講演がありました。



パネルディスカッションの様子



あの一般質問は今...

平成26年12月定例会

質問

地域おこし協力隊への支援は

答弁

村として各人に単独支援して定住してもらおうことは考えてない。

平成27年9月定例会

質問

マイナンバー制度のセキュリティ対策は

答弁

職員研修の実施、村特定情報保護条例の制定、国の基準に適合するウイルス対策を実施する。

その結果今は



財源との関連で未了の事項については、今年度予算化されたので年度内に対応する。



1. 村としての支援は、住居の確保、共同利用による車輛の確保、機具、備品の提供、起業化支援、PRを行ってきた。
2. 第一次協力隊については定住化・起業化に結び付いている。

議会の考え

早期の対応と万全の注意を望む。

第2次協力隊の受け入れについて、6次産業化を図る目的が明確になったので早めの実現が図れるよう対策が必要。

紹介

しょうかい

道志村民ゴルフ大会

会長 水越 茂廣

本会は、スポーツレクリエーションの環境として、ゴルフの技術向上、マナーの習得と共に、村民の親睦と融和を図ることを目的に、平成2年村内の企業経営者有志が発起人となり、ゴルフ愛好者の熱意で発足しました。

発足当初は、いわゆる「バブル」景気の時代でゴルフ人口も多く特に第1回目の大会は約150名を超えるゴルフの愛好者が集まり、会場も、2つのゴルフ場に分かれて競技をし、終

了後の表彰式・懇親会は道志水源の森で発足の祝賀を兼ねて盛大に開催されました。

以来、年1回の村民ゴルフ大会が続けられ、昨年、第25回の記念大会を78名の参加を得て行いました。

道志村民ゴルフ大会は、コースの途中にチャリティーホールを設けて参加者の好意により募金を頂戴して道志村内の各種団体や社会福祉協議会等に寄付を続けられており、多少は道志村の社会福祉の向上

等に寄与されているものと思っております。このチャリティー方式は他の多くの自治体でも行っていますが、25回連続していることに意義があり、今後も参加者のご理解を頂き継続していくことが肝要だと思っています。

近年、社会情勢の変遷等によって、参加者が減少していますが、私共役員・理事は、参加基準を見直すなどして一人でも多くの人に参加をして頂けるよう創意工夫をしていますので、皆様のご意見ご

要望などお聞かせください。また、今年は10月16日(日)花咲カントリーで第26回大会を予定していますのでゴルフ愛好者の皆様奮ってご参加をお願いします。

川原畑地区
佐藤 邦治
杉本 長仁

神地地区

平賀 雅文
山口 祐輝

善之木地区

池谷 和也
長田 篤司

※参加希望者は地区理事まで連絡ください。

さい。

久保地区

中野 健一

長幡東地区

坂 栄平

長幡西地区

山口 哲央
菅谷 勝巳



参加者の好意により募金を贈呈

がんばる人紹介

もっと多くの人に伝えたい・出逢い・感謝・感謝



道志茶屋
管理者 坂本 雅央

初めまして、道志村でデイサービスを提供を行なわせて頂いています。管理者の坂本雅央と申します。皆様方の支えがあり、今年で開設より5年を迎えることができました。「道志茶屋」というネーミングには、道志村民の方々が気軽に立ち寄り集まってお茶を飲めるような、そんな憩いの場所にしたいという想いで名付けています。今では、保育所児との交流、学童保育との共有行事、中学生の職場体験の場、ボランティアの方々によるレク活動、幅広い村民の方々との交流を可能にすることができました。そして、様々な協力関係者の期待を胸にスタッフ11名と日々

最幸の時間と思い出の1日にしようと思っています。思い返せば、あつという間の5年間でしたが、これからの5年間はより多くの村民の方々に感謝が返れば、という気持ちで努力して行きます。皆さんに「道志茶屋があつてよかつたよ」と言ってもらえるように多くの仲間達と大切な時間を過ごしていきたいです。是非一度皆様も遊びにいらしてください。お待ちしております。



利用者に手づくりイベント随時開催

写真募集中(議会だよりに掲載させていただきます。)

編集後記

任期満了に伴う改選で5月13日に現職4名、元職1名、新人5名の議会が誕生し、6月定例会では7名から多岐にわたっての一般質問がありました。

「議会だより」は前任の経験者の方に教わりながらの編集となりましたが、皆で活発な意見交換も行いここまで到達することができたと感じています。

まずは学びながら、それから自分たちのカラーを出していく事になると思いますが、今後は一層の努力を重ね充実した「議会だより」となるよう皆で取り組んでまいります。

一人でも多くの方に愛読して戴けることを願ひ編集後記と致します。
(菅谷 政文)

広報常任委員会

委員長	菅谷 政文
副委員長	佐藤 長久
委員	杉本 孝正
委員	佐藤 進